

令和 4年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

呉中央中学校区 校番 18 呉中央小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・適切だと思われる。 ・新体力テストの目標についてだが、男女別に設定してはどうだろうか。目標が明確になり、意欲につながるような目標設定にすべき。 ・「楽しい学校、安心できる学校」になるような目標設定に期待する。
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・適切だと思われる。 ・生活リズムの確立と運動を日常化して、できるだけ身体を動かすような取組をしてほしい。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・適切だと思われる。 ・体力が劣っているのは勉強に費やす時間が多いからであろうか。 ・家庭学習時間の個人差が大きいのは、メディアに接する時間が長い児童がいるのではないかと心配である。
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・以前はよくあいさつをする子供たちに会っていたが、最近あいさつをする子供が少なくなったように思う。また子供たちの元気なあいさつが聞けるようになることを期待する。 ・体力、運動能力の向上により評価がでるように努力を望む。結果を求めると同様に、取組を継続していく必要がある。 ・体力の向上のために、二河川など学校近辺の自然環境を活用してはどうか。 ・今後ともていねいな指導を期待する。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況下で、今やるべきこと、できることを精一杯工夫して取り組んでいる。子供たちの表情に、これまで当たり前と感じていた「学校で先生たちや仲間に出会うことができること」の喜びが感じられた。 ・授業観察では、どの学級も落ち着いて学習に取り組むことができていた。道徳科の役割演技や外国語科のTTなど指導形態にも工夫が見られてよい。 ・結果が100%でなくても、手立てがあってその目標に近付いていくことが大切である。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・目標、指標の設定についてはおおむね適切であるという評価なので、今後も継続する。体力の向上については、児童が意欲をもてるような目標設定を行う。 ・目標達成のための方策、自己評価の結果の分析についても、適切であるとの評価なので継続する。生活リズムや家庭学習については、今後とも家庭との連携や啓発を継続する。 ・今後の改善策(案)についてもは、各分掌ごとの実践を継続するとともに、キャンペーン期間を設けるなどして、意欲付けを行い、取組を継続させるように努める。 ・働き方改革については、教職員が気持ちにゆとりをもつために、効率的な働き方について考え、今後とも業務改善を進めていく。
--------------------	---